

令和7年度 事業報告

令和7年度は、国際的な観光需要の拡大や円安基調の継続を背景として、訪日外国人旅行者数は引き続き高水準を維持し、我が国の観光・航空需要は堅調に推移しました。一方で、年度末には中東情勢の緊迫化や燃油価格の上昇など、航空業界を取り巻く環境に一部不透明感も見られました。

成田空港におきましては、国際線需要の拡大が続く中、C滑走路新設及びB滑走路延伸工事が本格着工するなど、「成田空港第2の開港プロジェクト」の下、機能強化に向けた各種取り組みが本格化しました。また、空港と地域が一体となった新たな都市圏づくりを目指す「SORATO NRT（ソラト ナリタ）エアポートシティ構想」が公表されるなど、成田空港を中心としたまちづくりについて、将来を見据えた方向性が示されました。

令和7年度の成田空港の運用状況としましては、航空旅客数（42,589千人）及び航空機発着回数（254,134回）は、ともに前年度比4%増となりました。

国際線旅客数は、継続的な訪日需要の高まりを背景として35,391千人（前年度比106%）となり、このうち外国人旅客数は過去最高となる24,101千人（同106%）を記録しました。また、日本人旅客数についても9,180千人（同111%）となりました。国際線発着回数については、アジア方面路線が好調に推移したことなどから205,990回（同105%）となり、年度として過去最高を記録しました。

一方、国内線については、旅客数が7,198千人（同97%）、発着回数が48,144回（同97%）と前年度をやや下回る水準となりました。

このような状況の下、令和7年度の当協会は、旅客の増加基調を追い風にしながら、各事業を着実に実施するとともに、今後の航空需要拡大を見据え、持続可能な運営体制の構築に向けた組織基盤の強化に取り組みました。特に、人材の確保・定着が重要な経営課題となる中、継続的な採用活動を実施するとともに、若手・中堅職員を中心とした賃金の改定、新たな福利厚生制度の導入など、処遇改善に向けた取り組みを進めました。また、バックオフィス業務の効率化及びDX推進を目的として、経費精算・請求書処理に関する新たなクラウドサービスを導入するなど、事務処理の迅速化や負担軽減を図りました。

公益事業では、小学生を対象とした野球大会やサッカー大会、中学生を対象とした英語スピーチコンテストを実施したほか、日本文化紹介体験事業において、新たな企画として能楽体験イベントを開催しました。また、保育ルームたんぼぼの運営については、継続的な園児募集活動や空港内保育園としての特色ある運営に努めた結果、園児数は徐々に増加傾向となりました。

受託事業では、環境業務において、主たる業務である航空機騒音実態調査や環境監視システム運用業務等を着実に実施したほか、事業収益の向上を図るため、他空港における騒音調査業務についても積極的に取り組みました。旅客対応業務においては、旅客案内業務、旅客サービス施設運営業務等を計画どおり実施するとともに、空港案内ボランティア活動日数拡大など、増加する訪日客の利便性向上に努めました。

収益事業では、手荷物一時預かり所の運営及びコインロッカー管理業務を着実に実施するとともに、ロッカー再配置及び機種更新に向けた調整を行うなど、継続的な収益確保に向けた取り組みを進めました。

第1 事業概要

1. 空港利用者の便益増進に関する事業

(1) 日本文化紹介体験事業

① 日本文化紹介体験イベント

日本文化紹介体験イベントについては、訪日客の増加を踏まえ、令和8年2月の3日間、新たに能楽体験イベントを企画・提案し、NAAからの発注を受け実施しました。

② 空港周辺ツアー

成田空港トランジット&ステイプログラム連絡会が実施する空港周辺ツアーについては、引き続きツアーを休止したものの、今後のトランジット&ステイプログラムの方向性を検討するため、有償化の検討を含めたモニターツアーを計8回実施しました。また、年度後半には、次年度途中からツアーを再開する方針が同連絡会において決定されたことから、連絡会関係者とともにボランティアの追加募集や予約システムの検討を行うなど、再開に向けた準備を進めました。

このほか、SNS（Facebook）を活用してツアーの魅力を発信したほか、ボランティアのモチベーション維持や情報共有を目的としたメールマガジンを配信しました。

2. 空港と空港関係地域社会との調和促進に関する事業

(1) スポーツ大会開催事業

小学生を対象とした野球大会、サッカー大会を開催しました。

・野球大会（第24回）

実施日 令和7年4月5日から4月20日の間の全5日間 参加31チーム511名

・サッカー大会（第31回）

実施日 令和7年12月21日 参加21チーム348名

(2) 英語スピーチコンテスト

9月から10月にかけて、空港周辺地域の中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催しました。コンテストは、暗唱の部（1・2年生）及びスピーチの部（3年生）の計3部門で実施し、25校から61名の応募がありました。

一次審査は、応募者から提出された暗唱及びスピーチの発表動画により実施し、審査を通過した21名の生徒による二次審査を成田市内のホールにおいて開催しました。

(3) 職場体験受入事業

空港周辺市町の中学生及び高校生を対象として、当協会が実施する旅客案内業務に受け入れ、社会経験の場を提供しました。また、航空業界を志望する専門学校生を受け入れ、成田空港における課外学習（Airport Study）に協力しました。

・中学校 1校 参加3名

- ・ 高等学校 1 校 参加 3 名
- ・ 専門学校 1 校 参加 12 名

3. 空港に係る広報活動に関する事業

(1) エアポートニュース発行事業

「NARITA AIRPORT NEWS」について、2026 年 1 月号 (No.368) を発行しました (発行部数 1,350 部)。同号では、空港内主要事業所の代表者の方々から新年のご挨拶をいただくとともに、紙面を従来の 4 面から 6 面へ拡大し、掲載内容の充実を図りました。

4. 空港に係る調査研究に関する事業

(1) 航空機騒音に関する研究発表

- ① 第 54 回国際騒音制御工学会議 (Inter-Noise2025)
「空港周辺における航空機地上騒音の評価のあり方について」
- ② ASA-ASJ Joint Meeting
「航空機騒音短期調査の効率化と評価値の妥当性について」
- ③ 日本騒音制御工学会 2025 年秋季研究発表会
「空港周辺における航空機地上騒音の観測状況とその評価に関する検討」

(2) 航空環境等に関する外部協力

- ① 航空機騒音監視評価委員 (成田空港周辺地域共生財団)
- ② 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 講師
- ③ 日本騒音制御工学会 騒音伝搬分科会 委員
- ④ 日本騒音制御工学会 技術講習会 実行委員
- ⑤ 日本音響学会 評議員

5. 空港従事者の資質向上等に関する事業

(1) 保育ルーム運営事業

保育ルームたんぽぽの運営については、年度当初は園児 59 名でスタートしましたが、7 月以降は徐々に増加傾向となり、令和 8 年 3 月には 71 名 (0 歳児 13 名、1 歳児 18 名、2 歳児 18 名、3 歳児 9 名、4 歳児 9 名、5 歳児 4 名) となりました。

定員充足に向けた園児募集については、グループ会社及び空港関連事業所への周知、空港従業員向けポスターの掲示を行うとともに、月 2 回の見学会を実施するなど、潜在的な需要の喚起に努めました。

日々の保育内容・生活面では、体育教室、英語遊び、SDG s 教育などに力をいれたほか、ランプセントラルタワーの見学や、航空会社様のご厚意による季節行事・記念イベントへの参加など、空港内立地という特性を生かした魅力ある施設運営に努めました。

また、第 2 駐車場ビル中央広場のリニューアルに伴い整備された新たな園庭において、初

めての運動会を開催しました。

6. 委託を受けて空港の管理業務の一部を行う事業

(1) 環境業務

① 統合環境監視システム運用業務

NAA 航空機騒音監視システム、大気質常時監視システム、水質・地下水位自動観測システムの運用及び保守点検作業を実施しました。

② 航空機騒音に関する調査解析業務

NAA 及び空港周辺市町等から受注した空港周辺の航空機騒音実態調査、航空機に関する各種調査並びに解析作業を実施しました。

③ 空港周辺の大気質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の大気質に関する調査及び解析作業を実施しました。

④ 空港周辺の水質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の水質に関する調査及び解析作業を実施しました。

⑤ 空港カーボンニュートラルに関する業務

NAA から受注したサステナブル NRT2050 推進に関する算定及び空港カーボン認証プログラム更新申請に係る作業を実施しました。

⑥ 自然環境保全に関する生物保全業務

NAA から受注した環境影響評価手続きに基づく生物の生息域外保全作業を実施しました。

⑦ 航空機落下物防止に関する業務

NAA から受注した落下物防止に関する氷塊付着状況調査及び部品欠落調査を実施しました。

⑧ その他の調査等業務

NAA から受注した航空機騒音格付け確認、エンジン試運転低周波音調査、住宅遮音効果測定、外来植物除去等の作業を実施しました。

(2) 旅客案内業務

NAA から受注した第1旅客ターミナルビル南棟における旅客案内業務を実施しました。また、同ビル南棟保安検査場付近における Face Express 対応に係るサービス業務、出発動線における電動カート運行業務、入国審査場内におけるファーストレーン案内業務、WHILL（電動車イス）運行に係る管理業務を実施しました。

(3) 旅客サービス施設運営業務

NAA から受注した旅客サービス施設運営業務について、第1・第2旅客ターミナルビルにおけるリフレッシュルーム及びシャワールームの受付等業務を実施しました。

(4) その他の業務

①「成田空港公式ガイド」の在庫管理及び納品作業

NAA から受注した各ターミナルビルの店舗・サービス情報等を掲載したお客様向け公式ガイド「成田空港フロアガイド」について、在庫管理及び納品作業を実施しました。

②「成田空港ハンドブック」の発行

成田空港に関する各種情報を掲載した「成田空港ハンドブック 2025 年度版」(NAA 監修)を発行しました。なお、近年の需要動向や情報発信手段の変化等を踏まえ、同ハンドブックについては、本号をもって発行を終了することとしました。

③ 談話室の運営

空港従事者の親睦と交流を目的とした談話室の運営を行いました。

④ 書道・絵画展作品整理作業

NAA から受注した成田空港周辺児童書道・絵画展について、応募作品の整理・集計のほか、展示会場の設営、表彰式運営の補助作業等を実施しました。

・応募学校数 78 校、応募作品数 9,054 点(書道 4,449 点、絵画 4,605 点)

⑤ 案内ボランティア事務局業務

NAA から受注した成田空港案内ボランティア事務局業務について、第1・第2・第3旅客ターミナルビルの到着階及び地下コンコースにおいて、毎週金曜・土曜・日曜日並びに繁忙期に実施されたボランティア活動(9時～13時、14時～18時)の管理業務を実施しました。

・活動日数 200 日間

⑥ 空港見学ツアーに係るガイド業務

GPA から受注した空港見学ツアーにおけるガイド業務を実施しました。

・年間実施回数 39 回 ガイド人数 50 名

⑦ 契約参加資格者登録受付業務

NAA が3年に1度実施する入札参加資格更新申請の受付審査業務を受注し、実施しました。

⑧ 自動販売機商品補充業務

民間事業者から受注した第1旅客ターミナルビル内の自動販売機に係る商品補充業務を実施しました。

7. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 他空港における騒音実態調査等

国内の空港・飛行場における騒音実態調査等の業務支援及び騒音予測作業を受注し、実施しました。

(2) 手荷物一時預かり事業

手荷物一時預かり所については、航空旅客の手荷物等の一時預かり、機内預入荷物のバゲージラッピング及びスーツケースの開錠業務等を計画どおり実施しました。

また、全ターミナルビルにおいてコインロッカー管理業務を実施したほか、6月には第1旅客ターミナルビル3か所及び第2旅客ターミナルビル1か所においてコインロッカーを増設しました。

第2 庶務事項

1. 評議員会・理事会

(1) 第41回理事会（通常） 令和7年6月4日開催

- 第1号議案 令和6年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和6年度決算承認の件
- 第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件
- 第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項承認の件
- 報告事項 職務の執行状況報告の件

以上4議案について審議決定されました。

(2) 第42回理事会（臨時） 令和7年6月16日開催

- 第1号議案 定時評議員会（令和7年6月26日開催）の議題の一部内容変更及び議題追加の件

以上1議案について審議決定されました。

(3) 第19回評議員会（定時） 令和7年6月26日開催

- 報告事項1 令和6年度事業報告書の内容報告の件
- 第1号議案 令和6年度決算承認の件
- 報告事項2 公益目的支出計画実施報告書の内容報告の件
- 報告事項3 令和7年度事業計画書及び予算書の内容報告の件
- 第2号議案 定款の一部変更の件
- 第3号議案 理事選任の件
- 第4号議案 監事選任の件
- 第5号議案 評議員選任の件
- 第6号議案 常勤役員の報酬総額及び報酬等支給基準の改定の件

以上6議案について審議決定されました。

(4) 第43回理事会（臨時） 令和7年6月26日開催

- 第1号議案 会長・理事長・常務理事の選定の件

以上1議案について審議決定されました。

(5) 第44回理事会（通常） 令和8年3月25日開催

- 報告事項 職務の執行状況報告の件
- 第1号議案 令和8年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和8年度予算承認の件
- 第3号議案 規程改正承認の件
- 第4号議案 評議員選任に係る評議員会提出議案の決定及び同評議員会の決議の省略による実施の件

以上4議案について審議決定されました。

2. 役員等

(1) 評議員 令和8年3月31日現在

評議員	荒井 伸	元 (株)NAAファシリティーズ 代表取締役社長
評議員	大森 寿明	元 日本ホテル(株) 取締役会長
評議員	小島 直人	(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長
評議員	小林 健典	成田国際空港(株) 執行役員 管理部門長
評議員	斉田 正己	元 成田国際空港(株) 代表取締役副社長
評議員	佐久間 勇	芝山町 副町長、(一財)芝山町振興公社 理事長
評議員	新堀 義人	元 (一財)成田国際空港振興協会 理事長
評議員	中留 恵孝	元 (株)成田エアポートテクノ 代表取締役社長
評議員	諸岡 靖彦	成田商工会議所 顧問、米屋(株) 相談役

(五十音順)

(2) 理事及び監事 令和8年3月31日現在

代表理事	深谷 憲一	(一財)成田国際空港振興協会 会長
代表理事	岩澤 弘	(一財)成田国際空港振興協会 理事長
業務執行理事	吉岡 美恵子	(一財)成田国際空港振興協会 常務理事
理 事	伊東 信人	成田国際空港(株) 経営企画部門 関連事業部長
理 事	岩崎 俊一	(一財)空港振興・環境整備支援機構 理事長
理 事	蝦名 邦晴	(一社)日本旅行業協会 理事長
理 事	大八木 淳子	日本航空(株) 成田空港支店長
理 事	小山田 亜希子	全日本空輸(株) 上席執行役員 成田空港支店長 兼 ANA成田エアポートサービス(株) 代表取締役社長
理 事	長塚 健治	京成電鉄(株) 執行役員 鉄道本部運輸部長
理 事	野村 晃永	成田国際空港航空会社運営協議会 事務局長
監 事	土屋 伸一	成田国際空港(株) 財務部門 財務部長
監 事	橋本 勝	元(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長

(理事・監事 五十音順)

3. 基本財産

令和7年度末現在 20,000千円

4. 事務局

(1) 事務所

千葉県成田市古込字古込1番地1 (成田国際空港内 南オペレーションセンター2階)

(2) 職員数 (令和8年3月31日現在)

①総務部	9人
②公益推進部	3人
③環境技術部	18人 (職員・嘱託職員) 2人 (パート職員)
④旅客事業部	62人 (職員・嘱託職員・特定職員・契約職員) 39人 (パート職員・派遣職員)
⑤出向・育児休業者等	14人
合計	147人 (役員を除く)